国際ロータリー　第２５７０地区　第４グループ

皆野・長瀞ロータリークラブ

週報

◇例会日　第１・第２木曜日　１２：３０～１３：３０　第３・第４木曜日のいずれか　１８：３０～１９：３０
◇例会場　長瀞レクリエーションホテル　養浩亭
◇事務所　〒369-1305　秩父郡長瀞町長瀞１４４６　養浩亭内
Tel:0494-66-4134 / Fax:0494-66-4134　e-mail:minanaga@chichibu.ne.jp

IMAGINE ROTARY　イマジンロータリー

第１６１５回例会　令和５年４月１３日（木）

【会長の時間】　敵　徳治

皆さん、こんにちは。畑中さんの本からウイルスの話です。ウイルスの栄枯盛衰という事で、コロナに関しては衰え始めたかなと思いますが、ウイルスはしつこく続くという事の例だと思います。狂犬病という事で紹介しながら最近の情報を付け足したいと思います。

畑中さんの本の部分は３０年くらい前の話ですが、実態は今も変わらないという事のようです。

私たちの生活環境や文化が変わるにしたがって、病気のあり方、あるいは病気を引き起こすウイルスの種類が変わってきます。ポリオウイルスは文明が進み上下水道が完備した時に流行しましたし、エイズのウイルスが最初に見つかったのはジェット機で運ばれてきたものでした。このように人間がつくり出す文明とさまざまなウイルス病は栄枯盛衰を示すのです。盛衰の盛がエイズであり､盛衰の衰が天然痘なのです。(天然痘はほぼ絶滅している形です。)

日本ではほとんど問題にならない狂犬病が（※）意外に文明国であるアメリカやヨーロッパでは野生の動物、特にコウモリ、リス、キツネなどにはびこっています。(狂犬病は犬がもたらす病気かと思いますが、実際には人間の接点が犬であったという事です。）今でもこの地域では、家畜のところに野生のキツネなどが入り込んできて狂犬病ウイルスをうつし、人間がその家畜にかまれると狂犬病になるという被害が起きています。ベルギーでは大々的に狂犬病撲滅運動が展開されていて、動物が食べる肉に狂犬病のワクチンを入れて空中から投下するという作戦が行われています。この肉を食べた動物はワクチンによって予防接種をされたことになり、野生の狂犬病ウイルスにはかからなくなります。今や絶滅するという珍種の動物にも狂犬病がはやっていますので、このような動物たちを保護する意味でもこの作戦は続行されなくてはならないでしょう。ウイルスが私たちを含めた地球上のエコロジーにも深く関わっていることが分かります。

日本で問題にならない例ですが、現在どうなのか別のホームページの内容を紹介します。

（※）浜松医療センター HP より）狂犬病とは、狂犬病ウイルスに感染した犬やそのほかの動物に咬まれることで引き起こされる病気です。一度発症すると救命は極めて難しいと言われています。狂犬病の感染を防ぐためには、人間が予防接種を受けるだけでなく、ペットとして飼われている犬に対して予防接種を行うことも欠かせません。

日本では、狂犬病予防法により、犬へのワクチン接種・検疫制度が整えられていますが、海外へ旅行する際には注意が必要な場合もあります。流行地域はアジア、南米、アフリカで、全世界では毎年 50,000 人以上が死亡しています。世界の中で狂犬病が根絶された地域はオーストラリア、台湾、ハワイ等と島国地域に限られています。

日本では 1956 年のヒト症例、1957 年の動物の症例を最後に、狂犬病の国内発生は報告されていません。ただしその後、国外で咬傷を受け、帰国後発症し死亡したヒト輸入例が合計で 4 例報告されています（2021 年 3 月時点）。

日本の中で感染する心配はないけれども、海外旅行ではまだまだ危険で、大陸では普通に広がっているという事のようです。

【幹事報告】　山田　利明

１．地区事務所より会員増強セミナーの案内
２．金沢区つつじ祭開催の案内

地区研修協議会が２３日の日曜日に開催されます。午前９時は受付開始、午前１０時から午後４時１５分までです。

よろしくお願い致します。

会員卓話

敵　徳治会長

携帯電話の仕組み・ギガ料金に何故関係するか？

トランシーバは端末同士のやり取りですが、通話は隣の人であっても電話局を通してつながる事を理解して、途中大がかりな機械が入る t という事です。

北海道に住んでいる A さんと沖縄に住んでいる B さんが、携帯電話で通話しているとします。この場合、A さんの携帯電話と B さんの携帯電

話はどのようにつながって通話しているのでしょうか？ついイメージしがちなのが、A さんの携帯電話から発せられた電波が、日本の上空を横断して、直接 B さんの携帯電話に届いて、通話しているというものではないでしょうか？しかし、これは間違いです。

以前、日本の総理大臣が海外訪問をし、海外の要人に上記のような間違ったイメージで説明したことがあり、ひんしゅくをかいました。

「目に見えない電話線」を利用している携帯電話ですが、実は通常の電話と同様、有線のネットワークが通話を支えているのです。（図１）

データを届けるには、データを送信する相手を見つけて、そのデータを送ってくれる仕組みが必要になります。家庭や会社など、ひとまとまりのネットワークの出入口にはこのルーターがあり、外部に出るデータをすべて受け取っています。そして、受け取ったデータに書かれている宛先情報を見て、目的地に近い別のルーターに送り出すということを繰り返して、目的地までデータをリレーのようにして送っていきます。

機械としてはルーターと交換機はまったく別のものですが、宛先情報から目的地まで、仲間の機械たちが次々に連携していき、情報を送信相手まで送り届ける、という役割は非常に似ているのです。（図２）

メールや画像などのデータをやり取りする際、データはそのまま送られるわけではありません。パケットという単位に分割されて送られているのです。

分割されたパケットを振り分けるのがパケット交換機です。回線の混雑具合を判別し、早く送ることができる回線を見つけて送り出します。バラバラになったパケットは、相手の端末にたどり着く前に、再びパケット交換機を通ります。このパケット交換機は、送信者から到着したパケットを、順番通りに並べ替えて相手の端末に送り届けます。（図３）

1 パケットの大きさは、メールの送受信でいうと 64 文字くらいと言われています。
電話回線の場合、一旦回線がつながれると占有されて他の通話を送ることはできませんが、パケット通信では、1 つの回線に複数のデータを乗せることができます。（図４）

通話のイメージで示すと、図５の「左上の人と左下の人の通話」と、「右上の人と右下の人の通話」が同時に行われます。

各利用者は、自分のパケットを送信する瞬間だけ通信設備を使います。例えばネットで検索をするとき、以下のようになります。

1.ウェブ上で検索したいものを「クリック」、ページを表示
2.⇒データを受信するためパケットが発生（通信設備を使う）
3.ウェブページを開きっぱなしにした状態
4.⇒再度データを受信しない限りパケットは発生しない（通信設備を使わない）

送信パケットが多ければ設備をより長い時間使ったことになります。接続時間でなく送信したデータ量が料金に関係する理由がここにあります。

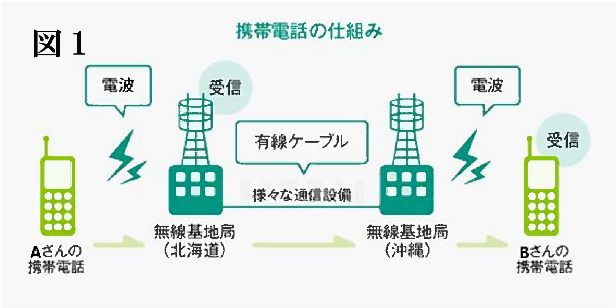
図１


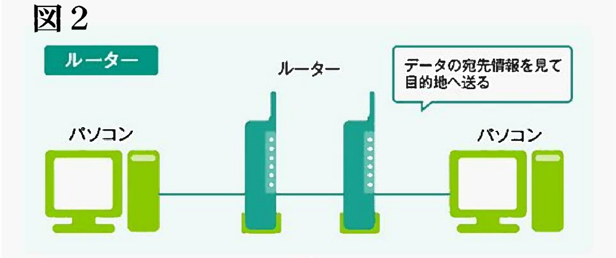
図２


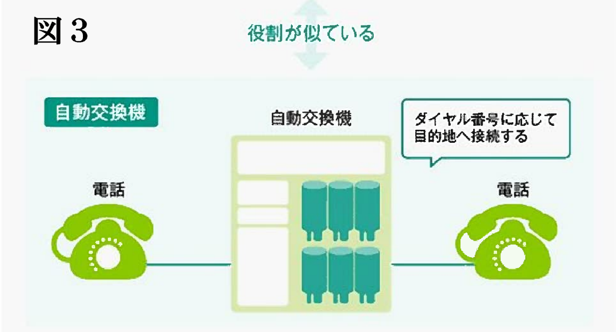
図３


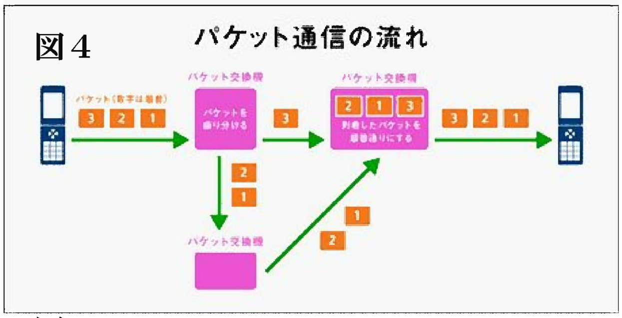
図４


図５

出席率

免除以外の会員	出席免除会員	出席	メイク	出席率
7	0	3	0	42.9%